

法と看護(1単位・15時間)

| | | | |
|--------|---|------|-------|
| 担当者 | 瀧本 茂 | | |
| 開講時期 | 3 学年 後期 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 授業目標 | 1. 保健・医療・福祉に関する基本的な法律について理解する 2. 対象となる人々の生命と人権を守る看護師の法的責任と義務について理解する | | |
| 受講上の注意 | | | |

| 授 業 計 画 | |
|---------|---|
| 第 1 回 | 法律の分類、法規の意味 |
| 第 2 回 | 看護法（保健師助産師看護師法） |
| 第 3 回 | 医療関係法規（医事法規、薬事法規） |
| 第 4 回 | 保健関係法規（保健衛生法規、予防衛生法規） |
| 第 5 回 | 衛生関係法規（環境衛生法規）・環境関係法規（公害関係法規） |
| 第 6 回 | 福祉関係法規・その他の法規 |
| 第 7 回 | グループワーク 保健師助産師看護師法に基づく、看護業務について事例の検討 |
| 第 8 回 | 単位認定試験 |
| 第 9 回 | |
| 第 10 回 | |
| 第 11 回 | |
| 第 12 回 | |
| 第 13 回 | |
| 第 14 回 | |
| 第 15 回 | |

| | |
|---------------------|-------------------------|
| 評価方法 | 単位認定試験(筆記試験 100 点) |
| デジタル テキスト 参考書 | 「看護関係法規」医学書院 国民衛生の動向 |

看護管理 (1 単位・15 時間)

| | | | |
|--------|---|------|-------|
| 担当者 | 堀川 徳子・中北 仁子 | | |
| 開講時期 | 3 学年 前期 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 授業目標 | 1. チーム医療・看護ケアにおける看護師としての調整とリーダーシップ及びマネジメントができる能力を養う 2. リスクマネージメントを理解し、安全な看護を提供することができる | | |
| 受講上の注意 | 統合実習に必要な知識・技術である | | |

| 授 業 計 画 | | |
|-----------------|------------------------|--|
| 第 1 回・ 第 2 回 | 看護管理 8 時間 (堀川徳子) | 看護とマネジメント 看護管理とは、マネジメントとは、看護ケアのマネジメントとは |
| 第 3 回 | | 看護サービスマネジメント、キャリアマネジメント サービス提供の仕組み、サービスの評価、人材のマネジメント 施設、設備、備品、情報のマネジメント マネジメントに必要な知識 組織とマネジメント、リーダーシップとマネジメント |
| 第 4 回 | | 看護を取り巻く諸制度 看護職の法的責任、看護職の職業倫理、医療制度 (診療報酬) 看護業務、リーダー業務について GW・発表 |
| 第 5 回～ 第 7 回 | | 【演習】医療安全 ミニストーリーの事例 6 を通して、リスクセンスを養えるように、動画の問題点に対して、その対策を GW で話し合い、対策をロールプレイで実施し、評価する。GW 発表 事例 1 「酸素ボンベ」 2 「ワーファリンの与薬」 3 「点滴の敵下数」 4 「インシュリン注射」 5 「カリウム注射」 6 「高カロリー輸液を更新する」 |
| 第 8 回 | | 単位認定試験 |

| | |
|------|--|
| 評価方法 | 単位認定試験 100 点(筆記試験 看護管理 50 点、医療安全 50 点) |
| デジタル | 「看護管理」医学書院 適宜資料配布 |
| テキスト | 「医療安全」医学書院 |
| 参考書 | 「医療・安全ワークブック」医学書院 |

地域・在宅看護論実習Ⅱ(2単位・90時間)

| | | | |
|--------|--|------|----|
| 担当者 | 奥西志穂 | | |
| 開講時期 | 3 学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | 1. 地域包括ケアシステムの中で健康を支援する多職種連携の実際や看護の役割について学ぶ 1) 健康の保持増進や、疾病の予防、心身機能の維持向上についての看護の必要性について理解できる 2) オリエンテーションや見学、利用者とのコミュニケーションを通して施設の概要や事業の目的、対象の特徴や健康課題について理解することができる 3) 各事業における多職種連携と看護職の役割について理解することができる | | |
| 受講上の注意 | 主体的に実習に臨み、対象者を尊重し、学生間や関係職種と協働する姿勢をもつこと 「地域包括ケアシステムの中において、健康の保持増進や疾病の予防に関する看護の役割と多職種連携の必要性」をテーマにレポートを作成する | | |

| 授 業 計 画 | |
|---|--|
| 1 日目 健診センター AM オリエンテーション PM スタッフのシャドウイング | 【奈良県健康づくりセンター】 |
| 2 日目 健診センター AM スタッフのシャドウイング PM 最終カンファレンス | |
| 3 日目 保健センター AM オリエンテーション PM 事業に参加 | 【保健センター】 ・大和郡山市保健センターさんて郡山 ・御所市保健センター |
| 4 日目 保健センター AM 事業に参加 PM 最終カンファレンス | ・葛城市役所健康増進課 ・橿原市役所保健福祉センター ・王寺町保健センター |
| 5 日目 地域包括支援課 AM オリエンテーション PM 事業に参加/スタッフの業務の見学 | 【橿原市役所分庁舎 長寿介護課】 |
| 6 日目 保健所 AM オリエンテーション PM リフレクション | 【保健所】 ・吉野保健所 ・中和保健所 |
| 7 日目 育成会 AM オリエンテーション PM 事業に参加/利用者とのコミュニケーション | 【育成会】 ・やすらぎの丘・たかとりワークス |
| 8 日目 育成会 AM 事業に参加/利用者とのコミュニケーション PM 最終カンファレンス | |
| 9 日目 学校保健室または保育・幼稚園課 AM オリエンテーション PM 養護教諭/看護師の業務見学 | 【学校等】 ・大和高田市立保育所・こども園 ・吉野さくら学園 |
| 10 日目 学校保健室または保育・幼稚園課 AM 養護教諭/看護師の業務見学 PM 最終カンファレンス | ・王寺町立北・南義務教育学校 ・下市町立下市あきつ学園 ・桜井市立小学校 11 か所 |

| | |
|-----------------|----------------|
| 評価方法 | 実習評価（ルーブリック評価） |
| デジタルテキスト 参考書 | 「在宅看護論」医学書院 |

地域・在宅看護論実習Ⅲ(2単位・90時間)

| | | | |
|--------|---|------|----|
| 担当者 | 奥西志穂 | | |
| 開講時期 | 3学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | <p>1. 地域で療養している対象者とその家族に対する支援の方法を理解できる 訪問看護ステーション実習</p> <p>1) 在宅で療養している対象とその家族の健康問題や生活環境が理解できる 2) 在宅療養者とその家族の生活状況に応じた援助を計画することができる 3) 在宅療養者を支えるための多職種連携と看護の役割について理解できる クリニック外来実習</p> <p>4) 自分らしい生活をおくるための健康に対するセルフマネジメントを支援する看護について理解できる 5) 在宅療養者を通して継続看護の必要性について理解できる 6) 外来診療・外来看護の実際について理解できる 老人福祉施設実習</p> <p>7) 施設の特徴を理解し、施設内で行われる症状マネジメントやケアの実際について理解できる 8) 地域包括ケアシステムの中での施設の役割や、多職種連携について理解できる</p> | | |
| 受講上の注意 | 主体的に実習に望み、学生間や関係職種と協働し、対象者を尊重した行動をとること 訪問看護ステーション実習では、看護過程を用い対象理解を行う | | |

| 授 業 計 画 | |
|---------|---|
| 1日目 | <p>訪問看護ステーション実習 AM 施設オリエンテーション(受け持ち療養者の情報収集)・看護師と訪問同行(ケアの見学および実施) PM 看護師と訪問同行(ケアの見学および実施)</p> |
| 2日目～4日目 | <p>訪問看護ステーション実習 看護師と訪問同行(ケアの見学および実施) 受け持ちの療養者は2回以上訪問し、看護過程の展開を行う</p> |
| 5日目 | <p>AM 看護師と訪問同行(ケアの見学および実施) PM 最終カンファレンス</p> |
| 6日目 | <p>クリニック外来実習 AM オリエンテーションおよび外来の見学 PM 検査や訪問診療の見学</p> |
| 7日目 | <p>クリニック外来実習 AM 外来の見学 PM 最終カンファレンス</p> |
| 8日目 | <p>特別養護老人ホーム AM 施設オリエンテーション PM 看護師のケアの見学や実施(利用者とのコミュニケーション)</p> |
| 9日目 | <p>看護師のケアの見学や実施(利用者とのコミュニケーション)</p> |
| 10日目 | <p>AM 看護師のケアの見学や実施(利用者とのコミュニケーション) PM 最終カンファレンス</p> |

| | |
|-------------|----------------|
| 評価方法 | 実習評価(ルーブリック評価) |
| デジタルテキスト参考書 | 「在宅看護論」 医学書院 |

成人老年看護学実習Ⅱ (3単位・135時間)

| | | | |
|--------|--|------|----|
| 担当者 | 有田 絵美 | | |
| 開講時期 | 3学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | あらゆる健康レベルにある成人・老年期の対象とその家族に対し、個別性に応じた看護が実践できる 1. 慢性的な状態にある対象を理解し、セルフマネジメントに向けた看護が実践できる 2. 対象の特徴と対象を取り巻く人々の担う役割を理解し、対象がその人らしく生活するための看護について学ぶ 3. 病院と地域をつなぐ場所における、保健・医療・福祉制度や関連機関との連携・協働について学ぶ | | |
| 受講上の注意 | | | |

| 授 業 計 画 | |
|---|--|
| <p>【<u>済生会中和病院・介護老人保健施設シルバーケアまほろば 秋津鴻池病院・介護老人保健施設鴻池荘</u>】 <u>15日間のうち、12日間地域包括ケア病棟、2日間介護老人保健施設、1日間地域連携室</u></p> | |
| <p>地域包括ケア病棟実習 1日目 病棟オリエンテーション 受け持ち患者の決定、患者紹介 情報収集 受け持ち患者を中心とした援助の見学</p> | |
| <p>地域包括ケア病棟実習 2日目～6日目 情報収集・整理・解釈・分析 受け持ち患者を中心とした援助の見学、一部実施 看護上の問題の抽出 (地域包括ケア病棟実習 6日目) 中間カンファレンス</p> | |
| <p>地域包括ケア病棟実習 7日目～12日目 看護計画立案 看護計画に基づいた援助の実施・評価・修正 (地域包括ケア病棟実習最終日) 最終カンファレンス</p> | |
| <p>介護老人保健施設実習 1日目～2日目 (※地域包括ケア病棟実習の前後どちらかに2日間連続で実習する) 施設オリエンテーション、施設内見学 対象(利用者)とコミュニケーション 対象(利用者)の援助の見学、一部実施 施設における保健・医療・福祉の実際と医療の連携の見学 (介護老人保健施設実習2日目) カンファレンス</p> | |
| <p>地域連携室実習 1日目 (※地域包括ケア病棟実習7日目以降に1日地域連携室実習を行う) オリエンテーション、施設内見学 地域連携室における保健・医療・福祉サービスの実際の見学 カンファレンス</p> | |

| | |
|-------------|------------------------------|
| 評価方法 | 実習評価 (ルーブリック評価) |
| デジタルテキスト参考書 | 「成人看護学」 医学書院 「老年看護学」 医学書院 |

成人老年看護学実習Ⅲ (2 単位・90 時間)

| | | | |
|--------|--|------|----|
| 担当者 | 有田 絵美 | | |
| 開講時期 | 3 学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | あらゆる健康レベルにある成人・老年期の対象とその家族に対し、個別性に応じた看護が実践できる 1. 急激な健康状態の変化にある対象の特徴を理解し、対象の経過に応じた看護が実践できる 2. 手術室の見学をとおして、手術室における看護の実際を学ぶ 3. 集中治療室の見学をとおして、集中治療室における看護の実際を学ぶ | | |
| 受講上の注意 | | | |

授 業 計 画

| |
|---|
| <p>【平成記念病院・生駒市立病院・近大奈良病院】</p> <p><u>10 日間のうち、8 日間病棟実習、1 日間手術室、1 日間集中治療室</u></p> <p>手術室実習 1 日目 (成人老年実習Ⅲ初日)</p> <p>手術室オリエンテーション、手術室見学 手術を受ける対象への看護の実際の見学 カンファレンス</p> <p>病棟実習 1 日目</p> <p>病棟オリエンテーション 受け持ち患者の決定、患者紹介 情報収集・整理・解釈・分析 受け持ち患者の手術前看護の見学、一部実施</p> <p>病棟実習 2 日目～8 日目</p> <p>情報収集・整理・解釈・分析 受け持ち患者の手術前・手術中・手術後看護の見学、一部実施 看護上の問題の抽出 看護計画立案、看護計画に基づいた援助の実施・評価・修正 *受け持ち患者の術後 1 日目より、看護計画に基づいた援助の実施を行う (病棟実習最終日) 最終カンファレンス</p> <p>集中治療室実習 1 日目</p> <p>(※病棟実習 5 日目を以降に 1 日集中治療室実習を行う)</p> <p>集中治療室オリエンテーション、集中治療室見学 集中治療を必要とする対象への看護の実際の見学 カンファレンス</p> |
|---|

| | |
|-------------|------------------------------|
| 評価方法 | 実習評価 (ルーブリック評価) |
| デジタルテキスト参考書 | 「成人看護学」 医学書院 「老年看護学」 医学書院 |

小児看護学実習(2単位・90時間)

| | | | |
|--------|--|------|----|
| 担当者 | 重久 菜穂子 | | |
| 開講時期 | 3学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | 1. 子どもの権利と倫理的配慮をふまえて、あらゆる健康段階にある小児と家族に対して必要な看護が実践できる 1) 対象の成長・発達段階と家族の状況が理解できる 2) 対象の健康状態を判断し、健康問題に対する援助の方法が理解できる 3) 小児の健康生活を促進し、看護が継続して実践できる社会資源の活用について学ぶ 4) 自己の看護観を養い、保健・医療・福祉チームにおける小児看護の役割が理解できる | | |
| 受講上の注意 | 感染予防行動を厳守する 主体的な姿勢で取り組む 対象を尊厳した態度を忘れない | | |

授 業 計 画

| |
|--|
| <p>1. 病棟実習 (5日間)</p> <p>【天理よろづ相談所病院/国保中央病院】</p> <p>1日目 病棟オリエンテーション 受け持ち患児紹介・コミュニケーション・情報収集</p> <p>2日目 コミュニケーション・情報収集 援助見学</p> <p>3日目 援助に実施 中間カンファレンス</p> <p>4日目 援助の実施</p> <p>5日目 援助の実際 最終カンファレンス</p> <p>2. 養護学校実習 (3日間)</p> <p>【奈良県立明日香養護学校】</p> <p>地域(在宅)で生活する医療的ケアが必要な小児の療育</p> <p>3. 福祉療育病院実習 (2日間)</p> <p>【東大寺福祉療育病院】</p> <p>地域(施設)で生活する医療的ケアが必要な小児の療育</p> |
|--|

| | |
|-----------------|----------------|
| 評価方法 | 実習評価(ループリック評価) |
| デジタルテキスト 参考書 | 「小児看護学」 医学書院 |

母性看護学実習(2単位・60時間)

| | | | |
|--------|---|------|----|
| 担当者 | 上野由美 | | |
| 開講時期 | 3学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | 1. 妊婦・産婦・褥婦と新生児の生理的変化、身体的、心理的、社会的特徴を理解する 2. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の経過に応じた援助を理解する 2. 地域における母子の支援と母子保健医療チームでの看護の役割を理解する 3. 生命の尊厳や母性観・父性観について考えを深めることができる | | |
| 受講上の注意 | 新生児への感染予防に配慮し、くれぐれも自己の健康管理に十分注意する 母性看護は、対象の経過が早いいため、基礎的な事前学習はしっかりしてから、実習に臨むこと | | |

| 授 業 計 画 | |
|---------------|--|
| 1日目 | 学内実習 4時間 実習のオリエンテーション 母性看護技術のデモンストレーション 看護技術の練習 妊娠・分娩・産褥期・新生児期の看護 (DVDの視聴) 事前学習の整理・確認 |
| 2日目～6日目 (5日間) | 病院実習 40時間 【天理よろづ相談所病院/林産婦人科/なんのレディースクリニック/生駒市立病院】 妊婦・産婦・褥婦・新生児を受け持ち看護過程の展開、援助を実施する カンファレンス |
| 7日目・8日目 (2日間) | 助産所、母子地域包括支援センター、産後支援ケアセンター 16時間 【あかね助産院】 地域における母子の援助の実際を見学する |

| | |
|-----------------|-----------------|
| 評価方法 | 実習評価 (ルーブリック評価) |
| デジタルテキスト 参考書 | 「母性看護学」 医学書院 |

精神看護学実習(2単位・90時間)

| | | | |
|--------|---|------|----|
| 担当者 | 高原 恵 | | |
| 開講時期 | 3 学年 前期・後期 | 授業形態 | 実習 |
| 授業目標 | 1. 精神に障害を持つ対象の特徴を理解し、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う | | |
| 受講上の注意 | 鍵の取扱いについて十分注意すること 守秘義務を守ること | | |

授 業 計 画

| | |
|--|--|
| <p>病棟実習(8日間)</p> <p>【秋津鴻池病院】</p> <p>1 日目 病棟オリエンテーション・受け持ち患者決定、情報収集</p> <p>2 日目・3 日目</p> <p style="padding-left: 2em;">患者とのかかわり・1 日の流れを見学</p> <p style="padding-left: 2em;">日常生活行動の観察</p> <p style="padding-left: 2em;">作業療法の役割を知る</p> <p>4 日目 患者との関わり・中間カンファレンスにて看護問題立案</p> <p>5 日目～8 日目</p> <p style="padding-left: 2em;">計画に基づいて看護の実践・評価修正</p> <p>6 日目 デイケアセンター・社会復帰施設の見学</p> <p>7 日目 学生レクリエーション実施</p> <p>8 日目 最終カンファレンス(8 日間の振り返り)</p> <p>訪問看護ステーション実習(2日間)</p> <p>【訪問看護ステーション LIFE DESIGN】</p> <p>9 日目・10 日目 訪問看護ステーション実習</p> <p style="padding-left: 2em;">オリエンテーション・訪問看護同行</p> | |
|--|--|

| | |
|---------------------|----------------|
| 評価方法 | 実習評価(ルーブリック評価) |
| デジタル テキスト 参考書 | 「精神看護学」 医学書院 |

